

英語科学習指導案

日 時:令和7年10月29日(水)5校時
 学校名:稲美町立稲美北中学校
 対 象:3 年 3 組 35 名
 指導者:安保俊宏 Lena Le Raux

1 単元について

単元(題材)名	NEW HORIZON3 Unit5 What makes a good leader?		
学習指導要領に関する領域別目標	(4) 話すこと[発表] ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。		
単元(題材)の目標	ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について考えることができる。また、自分が考える理想のリーダーについて、詳しい情報を加えて紹介することができる。		
生徒の実態	<p>知識・技能</p> <p>知識 ・Unit4 までに学習した文法事項(現在完了形・現在完了進行形・間接疑問・後置修飾など)を概ね理解している。既習の文法知識を把握し、文の構造や意味を概ね理解することができる。</p> <p>技能 1・2 年次に学習した文法を活用し、スピーキング活動の中で自分の考えを表現することができる。なお、書く活動においては、文構成や表現の面で課題が残っている。</p> <p>※スピーキング活動後に、自身の発表内容を英文で書き起こし、その後、ALT による指導・添削を反映させてもう一度作文する指導を行っている。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>・Stage ActivityI では、既習の簡単な文法を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができた。英語が苦手な生徒は、簡単な表現を用いて、なんとか自分の気持ちを表現しようとしていた。</p> <p>・前単元の Unit Activity では、日本の災害について事実を整理し、自分の考えをまとめて ALT に対して英語で伝えることができた。仲間の発表に対し、自分の考えを整理し、適切なコメントや質問を英語で伝える力を高めることが課題である。</p> <p>※メモをとりながら、話を聞き、キーワードをもとに、Why や How を使って質問を作る活動を行っている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>・自分の考えや気持ちを、簡単な文法を用いて伝えようとする生徒が大半である。自ら学習の見通しを持って活動に取り組もうとしている生徒が増えた。そのなかで、仲間の良い発表を参考にしながら自分のスピーチに取り入れたり、ALT からもらった助言や修正点をふまえて、より積極的に学習活動に生かしたりしようとする姿が見られる。</p> <p>※発表を聞きあったり、仲間同士でコメントを伝え合ったりする活動を増やしている。また、アドバイスをとり入れる時間をしっかりとるようにしている。</p>
単元(題材)設定の理由	<p>(1) 生徒観</p> <p>英語学習に苦手意識を持つ生徒もいるが、英語を使ってコミュニケーションをとることに憧れを感じ、会話練習には積極的に取り組むことができています。海外に対して強い興味をもっている生徒も多くいる。これまでに基本的な表現を復習し、自分の気持ちや知っていることを英語で表現しようとする気持ちを大切にしてきた。マンダラ・チャートや階層式マッピングなどの思考ツールを使った練習を重ねる毎に、コミュニケーション活動に積極的に取り組む生徒が増えてきている。</p>		

	<p>(2) 教材観</p> <p>本単元では、インドの民族独立運動の最高指導者であるガンディーの非暴力を基本とした独立運動の内容を通じて、「理不尽なことに屈しない心」「暴力に訴えない行動」について考えさせる。また、ガンディーがリーダーとして果たした功績から、「自分が理想とするリーダーとはどのような存在か」「リーダーシップに必要な物は何か」などについても考えさせる。</p> <p>(3) 指導観</p> <p>本単元の目標を達成するために、「自分が考えているリーダー像」「リーダーシップに必要な要素」「自分が憧れる人物」「将来どのような人物になりたいか」についてマンドラ・チャートを使ってアイディアを深めていく。また、深めたアイディアをさらに詳しく説明するために階層式マッピングを用いて、即興的に自分の考えを英語にする練習をしていく。その過程の中で、生徒がこれまでに学んできた文法を使用したり、新出文法を教科書の本文をヒントに活用したりしようとする時間を取り、思考しながら伝えたいことの表現を改善していくことに取り組む。スピーチ後のやり取り（質問と回答）、感想を述べたり、相づちを打ったりといった部分はまだ課題がある。本単元では、簡単な相づちを打ちながら話を聞く練習も行うが、ALT や仲間へ伝える活動を通じて、質問に対する即応力を高めるための練習を重ねていく。</p>		
<p>単元（題材）の 評価規準</p>	<p>知識・技能</p> <p>知識</p> <p>名詞を修飾する文の構造や、関係代名詞 who, that,[which]の形・意味・用法を理解している。</p> <p>技能</p> <p>学んだ文の構造を活用し、言葉に詳しい情報を加えながら、どのような人や物かを的確に説明することができる。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>自分が憧れるリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報（事実や自分の考え、気持ちなど）を収集・整理し、簡単な語句や文を用いて表現することができる。また、自分の考えを友達と共有したり、友達の意見を聞いて適切に応答したりすることで、聞く・話す・読む・書く、の4技能を統合的に活用して学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>・理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p> <p>・第7時を中間発表とし、その活動のなかで、仲間の良い発表を参考にしながら自分のスピーチに取り入れようとしている。また、ALT からもらった助言や修正点をふまえて、より積極的にスピーチの改善に生かそうとしている。</p>

2 単元の指導と評価の計画（全 8 時間） ※backward design での単元計画

時間	活動・学習内容	【評価の観点】 評価規準	授業ののりしろ(◇) 学習課題(■)と主な学習活動(○)		
			単元の中で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現を目指す場面		
8 TT	単元を通して学んだことを活かし、「将来自分がどのような人になりたいか」についてスライドを用いながらクラスメイトに発表する。 発表終了と、質疑応答を行う。 発表終了後、全体で振り返りを行う。	【話すこと】 「将来になりたい自分」とはどのような人かを伝えるために、あこがれの自分であるための情報について、自分の考えや気持ちを整理して話すことができる。 【聞くこと】 スピーチを聞きながら、簡単な相づちをうったり、要点をとらえた質問をすることができる。	◇Teacher Talk で ALT と JTE のそれぞれの「になりたい自分」について紹介する。 ■発表の最終チェックを行う ①発表前のイメージトレーニングを行う。 ②これまでにもらったコメント(助言)を確認する。 ■スライドを用いながら 1 人ずつ発表していく。 ③前時までにブラッシュアップしてきた最終版のスピーチを行う。終わったら他のグループが即興で質問をする。 ④聞き手は簡単なコメントを書いて、発表者に渡す。 ⑤発表した内容を英文にまとめる。振り返りシートに「できるようになったこと」「もやもやしたこと」を記入する。 ⑥振り返りを発表する。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び
7	班でスピーチのリハーサルを行い、助言をし合う。スピーチの流れに合ったスライドを作成する。	【話すこと】 「将来になりたい自分」がどのような人かを伝えるために、あこがれの自分であるための情報について、班のメンバー同士で事前にリハーサルを行い、助言をし合う。	◇Teacher Talk で「スピーチをするうえで大切だと思うこと」、「自分のスピーチで改善された点」について生徒に聞いていく。 ■発表の練習を行う ①班で発表する前のイメージトレーニングを行う。 ②前時にもらったコメント(助言)を確認する。 ■班でリハーサルを行い、助言をし合う。 ③階層式マッピングシートを基に、班員とスピーチを確認し合う。 ④他の班員の発表や、質問、意見を取り入れて自分の発表に生かす。 ■3 枚程度の簡単なスライドを準備する。 ⑤スライドを見ながらリテリングできるような構成でまとめる。 ◇「将来になりたい自分」に関するスピーチを行うことを伝える。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び

6	数人の仲間とスピーチを聞きあい、アドバイスをし合って、自分のスピーチをブラッシュアップさせる。	<p>【聞くこと】</p> <p>友人のスピーチを聞いて、内容を理解し、質問することができる。</p> <p>また、メモしたキーワードに関する質問やコメントをつくることができる。</p> <p>【話すこと】</p> <p>友人からの質問や意見(アドバイス)を整理し、スピーチに加えることができる。</p>	<p>◇デジタルテキスト Unit5 のサンプル映像のスピーチをみんなでみて、コメントや、アドバイスを言い合う。</p> <p>■スピーチの練習を行う。</p> <p>①前時に作成した階層式マッピングを基に、スピーチのイメージトレーニングを行う。</p> <p>②これまでにもらったコメント(助言)を確認する。</p> <p>■スピーチを聞きあい、意見交換する。</p> <p>③数人の仲間にスピーチを聞いてもらい、コメントや助言をもらう。</p> <p>④アドバイスやコメントをもとにスピーチを改善する。</p> <p>◇次回は原稿を基に、発表のリハーサルと、スライド作りをすることを伝える。</p>		
5 TT (本時)	将来自分がどのような人になりたいかをこれまでに考えてきたリーダー像をもとにまとめ、友人に伝えあう。	<p>【話すこと】</p> <p>思考ツールを用いて、これまで学んできた考えや表現を用いて、自分が思う「将来になりたい自分」に関するスピーチを即興で作ることができる。また、友人の質問に答えることができる。</p> <p>【書くこと】</p> <p>自分がつくったスピーチを、まとめとして英文にまとめることができる。</p>	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
			<p>◇「リーダーシップ」について仲間とテーマトークを行う。その後、ALT が思う「リーダーシップ」について聞く。</p> <p>■これまでに理想の人物像について考えてきたことを ALT に伝える。</p> <p>○「リーダーシップ」とはどのようなことか、教師の質問に生徒が答える形で、まとめていく。</p> <p>■レナ先生が理想とする人物について質問をしながら階層式マッピングを完成させていく。</p> <p>○生徒はレナ先生に「理想の人物」について質問をして理解を深めていく。</p> <p>■「将来になりたい自分」の実現に必要な要素をマングラ・チャートを用いて考えていく。</p> <p>■階層式マッピングを用いて、「将来になりたい自分」になるために必要な要素について考えを広めていく。</p> <p>■作成したスピーチを友人に伝え、友達の質問に即興で答えていく。</p> <p>◇スピーチを友達に伝えてアドバイスをもらったり、友達のスピーチを聞いてよいアイデアだと思ったことを自分のスピーチに加え、さらにブラッシュアップしていくことを伝える。</p>		

4	自分が尊敬する人を選び、思考ツールを用いながら、スピーチを作っていく。関係代名詞を用いた文を使用し、尊敬する理由を説明する文を完成させる。	<p>【話すこと】</p> <p>なぜ理想のリーダーなのかの理由を述べながら、次の2つの条件を満たして話すことができる。</p> <p>1.理想のリーダーを1人選んで紹介している。</p> <p>2.どのような人なのかを具体的に説明している。</p> <p>【書くこと】</p> <p>まとめとして、自分が作ったスピーチを英文にまとめることができる。</p>	<p>■教師が理想とする人物に関する階層式マッピングを、生徒に質問させながら完成させていく。</p> <p>○生徒は質問をすることにより、教師の理想とする人物と、その理由を引き出していく。</p> <p>■自分が理想とする人物に関するマンダラ・チャートをノートに作成する。その後、階層式マッピングを使用し、理想とする理由を3つ述べる英文を作る。</p> <p>○グルーピング、ナンバリングを行い、スピーチを完成させ、友人に伝える。</p> <p>■作成したスピーチを作文にまとめ、提出する。</p> <p>◇全員の作文を読み、文法的な添削を行い、次回はそれを基にさらに正確な英語の表現を用いて、「自分が将来どのような人になりたいか」を考えていくことを伝える。</p>
<div>主体的な学び</div> <div>対話的な学び</div> <div>深い学び</div>			
3	Read and think を読むことを通じて、ガンディーの生き方から、「リーダーシップに必要なこと」や「理想のリーダー像」について自分の考えをまとめる。	<p>【読むこと】</p> <p>Read and Think を読んで、平和や人権の意味について考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の要点をつかむことができる。また、本文の内容をヒントにしながら、「リーダーシップに必要なこと」や「理想のリーダー像」について考えをまとめることができる。</p>	<p>◇前回導入したガンディーの生涯について、簡単に説明する。</p> <p>■NHK「100分で名著」で紹介されていたガンディーの生き方(15分)を視聴する。</p> <p>○ガンディーの生き方への理解を深める。</p> <p>■本文を読んで、内容をまとめる。</p> <p>○グループで、ワークシートに、ガンディーの生き方の概要を日本語でまとめる。</p> <p>■ガンディーの生き方から、「リーダーシップに必要な事」や「理想のリーダー像」についてさらに細かくまとめる。</p> <p>○マンダラ・チャートと階層式マッピングを用いて、ガンディーの生き方を英語で表現する。</p> <p>◇自分が尊敬する人を1人紹介してもらうことを伝え、なぜ、その人物を尊敬するのかを考えさせる。</p>
<div>主体的な学び</div> <div>対話的な学び</div> <div>深い学び</div>			
2	「リーダーシップ」に必要なだと思うことを思考ツールを使って深め、仲間に伝える。仲間の意見を聞いて、良いと思った情報を加える。	<p>【話すこと】</p> <p>「リーダーシップに必要な要素」について、仲間の考えを聞きながら、自分の考え、気持ちなどを整理して3つの理由を含めて話すことができる。</p> <p>【読むこと】</p> <p>Part2で述べられている、ガンディーがどのような人物かを知るために、ガンディーとその功績について話された対話の要点を捉えることができる。</p>	<p>◇日本や世界のリーダーとされる人物についてクイズを行う。写真で示された人物がどのような人かを、みんなで意見を出し合いながら英語で表現していく。</p> <p>■Part2の本文を読みながら、ガンディーが取り組んだことと、功績の概要を捉える。</p> <p>■ガンディーの成し遂げたことと、これまでに自分がリーダーシップを発揮したことを基に、「リーダーシップ」に必要なことを、思考ツールを用いて、深めていく。</p> <p>○「リーダーシップに必要なだと思うこと」に関してスピーチを作る。</p> <p>◇次回は、ガンディーの生き方を英語で読んで、どのようなリーダーシップを発揮したかをみんなで意見を出し合うことを導入する。</p>
<div>主体的な学び</div> <div>対話的な学び</div> <div>深い学び</div>			

1	自分が思う「リーダーシップ」について、自分の考えをまとめて発表する。	【話すこと】 「リーダーシップに必要な要素」について、自分の考え、気持ちなどを整理して3つの理由を含めて話すことができる。 【読むこと】 Part I の本文を読み、ガンディーについての紹介の概要を捉えることができる。	■名詞+主語+動詞の文法を理解する ○準備した写真をクイズ形式で示す。示された写真を説明するための英文をみんなで作る ■ガンディーの紹介を理解する ○Part I の英文をみんなで読んで理解する ○リーダーについての理解を深める ■思考ツールを使い「リーダーシップに必要な要素」について自分の考え、気持ちを整理してまとめる。 ○自分が思う「リーダーシップ」について友達に英語で伝える。 ◇ガンディーについてもっと深く理解していくことを伝え、みんなで「リーダーシップ」とはどのようなことを考えていくことを伝える。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び

3 本時（第5時）の目標

将来自分がどのような人になりたいかをこれまでに考えてきたリーダー像をもとに考える。それを相手にわかりやすく、階層式マッピングでグルーピングしながら論理的にまとめて、ALT や友人に伝えることができる。

4 本時の展開

() : 教師主導の活動 () : ペアやグループでの活動 () : 個人の活動

段階	時間	学習内容 (学習形態)	教師の役割		※指導上の留意点
			JTE	ALT	
導入	10分	○帯学習 ・ <u>テーマトーク</u> 1 分間で決められたテーマについて英会話を行う。 ・ <u>Teacher Talk</u> JTE と ALT が「人物」に関する会話をする。その中でリーダーシップを話題に出す。 ・ <u>テーマトーク2</u> 2 分 30 秒で“リーダーシップとは”について考えを伝え合う。 ○ <u>Teacher Talk</u> 前回のスライドを使いながら、ガンディーのリーダーシップについておさらいをする。	・ペアを作って生徒に話をさせる。 ・「人物」に関するトークテーマを 3 択で示す。	・ペアのいない生徒のサポートをする ・机間指導を行い、個別に支援する。	※積極的に話そうとする雰囲気づくりをする。 ※事前にアンケートをとって、生徒が興味のあるテーマ設定を行う。
			・期間指導を行い、個別に支援する。 ・ペアを作って生徒に話をさせる。 ・生徒とインタラクションしながら、ALT に前回の学	・ペアのいない生徒のサポートをする ・前回の授業にいなかった生徒に前回	※話題を自然に「リーダーシップ」に持っていく。ALT が「リーダーシップ」とはどういうものかと、問いかけるところから、テーマトークにつなげる。 ※積極的に自分のことを話そうとする雰囲気づくりをする。 ※自分の考えを述べ、それに対してコメントや質問をする練習を行う。 ※クラスみんなで伝えようとする雰囲気を作る。

			習内容を伝えていく。	の学習を教えてください	
		「将来なりたい自分」について、これまで考えてきたリーダー像をもとに、マッピングを用いながら相手にわかりやすくまとめて伝えることができる。			
展 開	30 分	<u>○インタラクション</u> ALT が「自分の理想の人物像」を示しながら、「将来なりたい人物像」について生徒に聞いていく。	・生徒とインタラクションしながら、ALT のスピーチに対して生徒からの質問を促す。	・「自分の理想の人物像」を伝えながら、生徒が将来、どのような人物になりたいと考えているのかに興味を持っていく。 ・生徒のスピーチを聞きたいという気持ちを伝える。 ・机間指導し、生徒に質問をしたりアドバイスをしたりする。 ・スピーチ練習を見ながら、適切なアドバイスを選ぶ。	※クラスみんなで ALT の話す内容を聞こうとする雰囲気を作る。 ※「将来なりたい自分」の姿を仲間や ALT に伝えたいと思うように話を進めていく。 ※ALT にスピーチを聞いてもらうという必然性を持たせる。
		<u>○スピーチの練習</u> ・グルーピングを行う ・ナンバリングを行う ・動詞を書きこんでいく ・ディスコースマーカーを書きこんでいく ・関係代名詞の who が使えそうな場所を見つける <u>○前時で作った階層式マッピングを基に、個人で『自分の将来の理想像』のスピーチを練習する</u> ①I 分で ②ジェスチャーを入れて ③何も見ずに <u>○ペアでの意見交換</u> <u>①横のペアで練習</u> ・聞き手はスピーチを聞きながらメモをとり、コメントや質問を伝える。 ・JTE と ALT によるアドバイス ・アドバイスを取り入れる ・個人での練習 <u>②縦のペアで練習</u> ・コメントや質問を返す。 ・JTE と ALT によるアドバイス ・アドバイスを取り入れる ・個人での練習	・動詞リストとディスコースマーカーリストを活用するよう指示する。 ・テンポよく行う ・ジェスチャー以外にも大切なことがあれば、生徒から聞いて取り入れる。 ・何も見ずに練習するよう促す。 ・聞き手は、メモをとりながら聞き、メモしたキーワードをもとに、コメントを伝えたり質問をしたりすることを伝える。 ・スピーチをより良くするためのアドバイスをを行う。 ・アドバイスを取り入れる時間をしっかりとる ・机間指導し、アドバイスをを行う。	・スピーチ練習を見ながら、適切なアドバイスを選ぶ。 ・ジェスチャーや問いかけを加えることを指導する。 ・スピーチをより良くするためのアドバイスをを行う。 ・スピーチをより良くするためのアドバイスをを行う。	※関係代名詞 who をスピーチにどのように取り入れるかを考える時間をとる。 ※スピーチの終わりを“What do you think?”で締めくくるようにする。 ※階層式マッピングシートを見ずにスピーチを行うよう指示する。 ※アイコンタクト、ジェスチャー、表情などを大切にしよう伝える ※アドバイスを取り入れる時間をとる

